

令和4年度 公社等経営評価シート
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概 要	名 称	公益財団法人宮崎県移植推進財団		所在地	宮崎市橋通東2丁目10番1号		
	電話番号	0985-25-3106		ホームページ	https://m-is yokusuisin.com		
	設立年月日	平成4年7月7日	代表者	理事長 濱田 政雄	県所管部・課	福祉保健部 健康増進課	
	総出資額	46,794千円		県出資額	29,619千円	県出資比率	63.3%
	設立目的	臓器移植を推進するため、県民への移植医療の知識や意義の普及啓発、医療機関への情報提供及び移植医療が適正に行われるための支援を行い、もって県民の健康及び福祉の向上に寄与することを目的とする。					
特記事項	臓器の移植に関する法律（平成9年法律104号）第3条に、移植医療に関する普及啓発は国及び地方公共団体の責務であることが規定されている。						

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度
①公社等のあり方見直し	新公益法人制度での運営	事務局を3名から2名体制にスリム化し、経費の削減を行った。	事務局2名体制に移行後も効率的に業務を実施した。	より効率的な業務運営を検討する。
②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	事業計画に基づく事業の実施	コロナ禍の状況においても、臓器移植に関する啓発を積極的に行った。	コロナ禍の影響下においても、普及啓発を充実させる。
	財務改善	賛助会員・寄附金等の拡大、基金取崩額の減額	賛助会費・寄付金収入が増えるとともに、事務局体制をスリム化したことにより基本財産の取崩額が減った。	賛助会費・寄付金収入の増や、コロナ禍で会議を書面開催としたこと等により、基本財産を取り崩すことなく事業を実施した。
	組織等適正化	組織体制の充実に向けた検討	事務局を3名体制から2名体制とし、スリム化した。	事務局2名体制に移行後も効率的に業務を実施した。
③県と見直し等の関係と見直し	人的支援見直し	組織体制維持のため、人的支援を維持した。	組織体制維持のため、人的支援を維持した。	独立した運営の検討を行う。
	財政支出見直し	現在の補助金を維持	組織体制維持のため、補助金の額を維持した。	組織体制維持のため、必要な補助金額を確保した。
④情報公開推進	ホームページでの情報公開の充実	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行った。	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行った。	ホームページによる財務状況、活動状況等の情報公開を積極的に行う。

	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
人的支援	役員数	9	3	3	3	9	3	3	3
	常勤	1	0	1	0	1	0	1	0
	非常勤	8	3	2	3	8	3	2	3
	職員数	1	0	0	1	1	0	0	1
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	0	0	0	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	7,303	7,444	7,444	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	0	0	0	
その他の県からの支援等	事務局を県福祉保健部健康増進課内に置いている。								

主な県財政支出の内容	事業名	事業内容	令和3年度 決算額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	種別
	①	宮崎県臓器移植推進事業補助金	臓器移植の円滑な実施及び移植医療の普及を図るための一部補助で、対象経費は活動に必要な経費	7,444	7,702
②					
③					
④					
⑤					

実施事業	①普及啓発に関する事業 ②臓器提供者の募集及び腎臓移植希望者の登録に関する事業 ③臓器移植関係機関相互の連絡調整に関する事業 ④腎臓移植等に対する助成に関する事業 ⑤臓器のあっせんに関する事業						
	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
活動指標	①	会議(研修会)回数	会議(研修会)回数(回)	目標値	実績値	達成度(%)	目標値
	②	臓器提供意思表示カード配布	カード配布枚数(枚)	2	2	100.0%	2
	③			20,000	15,670	78.4%	20,000
指標の設定に関する留意事項							

財務状況	正味財産増減計算書 (千円)				貸借対照表 (千円)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度
	経常収益	13,274	12,129	11,428	資産	51,081	51,107	50,923
	経常費用	13,561	11,431	11,332	流動資産	3,051	4,277	4,094
	当期経常増減額	-287	698	96	固定資産	48,030	46,830	46,830
	経常外収益	0	0	0	負債	2,754	3,303	3,045
	経常外費用	0	0	0	流動負債	2,754	3,303	3,045
	当期経常外増減額	0	0	0	固定負債	0	0	0
	税引前当期一般正味財産増減額	-287	698	96	正味財産	48,326	47,804	47,878
	法人税・住民税及び事業税	21	21	21	指定正味財産	47,994	46,794	46,794
	当期一般正味財産増減額	-308	677	75	(うち基本財産への充当額)	47,994	46,794	46,794
	一般正味財産期首残高	641	333	1,010	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	一般正味財産期末残高	333	1,010	1,085	一般正味財産	333	1,010	1,085
	当期指定正味財産増減額	-2,200	-1,200	0	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	50,194	47,994	46,794	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期末残高	47,994	46,794	46,794				
	正味財産期末残高	48,326	47,804	47,878				

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
①	自己収入比率	(基本財産運用益+自己収益) / 経常費用計 × 100 (%)	20.0	26.9	134.7%	20.0	20.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	(8千円+1,791千円+1,253千円) / 11,332千円 × 100					
②	事業費比率	事業費 / 経常費用計 × 100 (%)	68.0	90.7	133.4%	68.0	68.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	10,276千円 / 11,332千円 × 100					
③							
	※ 令和3年度 実績値の算式						
指標の設定に関する留意事項							

直近の県監査の状況

総合評価	公社等自己評価	普及啓発事業においては、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、キャンペーンや出前講座等の積極的な実施や県内薬局へのリーフレット配置などに取り組み、前年度を上回る実績を上げることができた。財務状況においては、賛助会員の増加による会費増額や効率的な事務執行に努めた結果、平成16年度以降継続してきた基本財産の取崩しを行うことなく事業を実施することができた。今後も自主財源の確保と効果的な事業実施に努めていきたい。				県所管部課二次評価	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の実施に困難が伴ったが、感染防止対策の徹底と活動の充実を両立し、出前講座の回数を前年度より増やすなど積極的な普及啓発に取り組んでいる。また、賛助会員や寄付の募集にも精力的に取り組んでおり、会議を書面で実施するなどの経費節減効果と併せ、令和3年度は基本財産を取り崩すことなく健全な事業執行が行われている。今後も引き続き自主財源の確保、効率的な事業執行に取り組んで行く必要がある。			
	評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A:良好, B:ほぼ良好, C:やや課題あり, D:課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営
		B	B	B	A		B	B	B	A
	目標達成度					公社等改革推進委員会三次評価	<p>活動内容については、腎臓提供協力病院との連絡会議の実施等、県内の協力体制の整備に取り組むとともに、移植医療の普及啓発に積極的に取り組んでおり、評価できる。</p> <p>財務内容については、会費及び寄付金等の自己収入が増加傾向にあり、収入確保の取組による成果が見られ、令和3年度は基本財産を取り崩すことなく事業を行っており評価できる。</p> <p>臓器移植の普及促進という極めて公益性の高い事業を担っていることから、活動の充実と財務面の強化が求められる。</p>			